

2023年5月12日

協議会委員各位

幹事長
ベンチマーク部会長
増田昌人

第4期沖縄県がん対策推進計画の沖縄県がん診療連携協議会案の策定方針について

1. 【基本方針】

- ・ 沖縄県の策定支援として、連携協議会案を作成する。
- ・ 国の基本計画と調和がとれたものとする。
- ・ これまでの沖縄県、連携協議会の計画を発展させたものとする。
- ・ ロジックモデルと指標を策定してから、それを計画文に表現する。
- ・ 指標については、統計指標等、患者体験調査、医療従事者調査などからロジックモデルに対応した指標セットを形成する。

2. 【プロセス】

- ・ 今回、ベンチマーク部会で作成した協議会案を示す（現段階では「共生分野」と「基盤分野」は未作成）。
- ・ ベンチマーク部会および各部会、幹事会にて検討をしている。
- ・ 沖縄県は、6月に第1回がん対策推進計画検討会を開催し、8月末には原案を作成予定とわかっている。そのため、6月中に協議会案を早急に作成する必要がある。

3. 【作業説明】

- ・ 国のロジックモデルは5ブロック 27分野から構成される。
- ・ 県民が理解しやすいように、4ブロック 9分野に整理した。
- ・ 国は基盤ブロックを医療ブロック等の前段階としているが、沖縄県では評価をしやすするために、同格のブロックとした。
- ・ 国の役割で県の役割でない部分は省いた。
- ・ 沖縄県として、必要な分野（離島・へき地分野）は追加した。

<本日審議していただきたいこと>

1. 予防・検診分野と医療分野について、ベンチマーク部会で作成した「たたき台」を提示したので、分野ごとの『分野アウトカム』、『中間アウトカム』、『個別施策』についてご意見を頂戴したい。

2. 以下の段取りでよいのかの是非について、ご審議を願いたい

(1) 予防・検診分野と医療分野についての『指標』に対する意見は、メールまたはファクスで、協議会事務局（琉球大学病院がんセンター）に送る（5月31日締切）。

(2) 本日提案できなかった共生分野と基盤分野のロジックモデルについては、ベンチマーク部会が原案を作成し、5月19日(金)までに協議会委員にメールの添付文書（一部の委員には郵送）でお送りする。それに対する意見は、メールまたはファクスで、協議会事務局に送る（5月31日締切）。

(3) 各委員からの意見を参考に、ベンチマーク部会が最終案を作成し、6月9日(金)までに委員にメールの添付文書（一部の委員には郵送）でお送りする。それに対する意見は、メールまたはファクスで、協議会事務局に送る（6月17日(金)締切）。

(4) ベンチマーク部会が修正したものを、第4期沖縄県がん対策推進計画（沖縄県がん診療連携協議会案）として、6月中に議長から沖縄県知事に提案する。

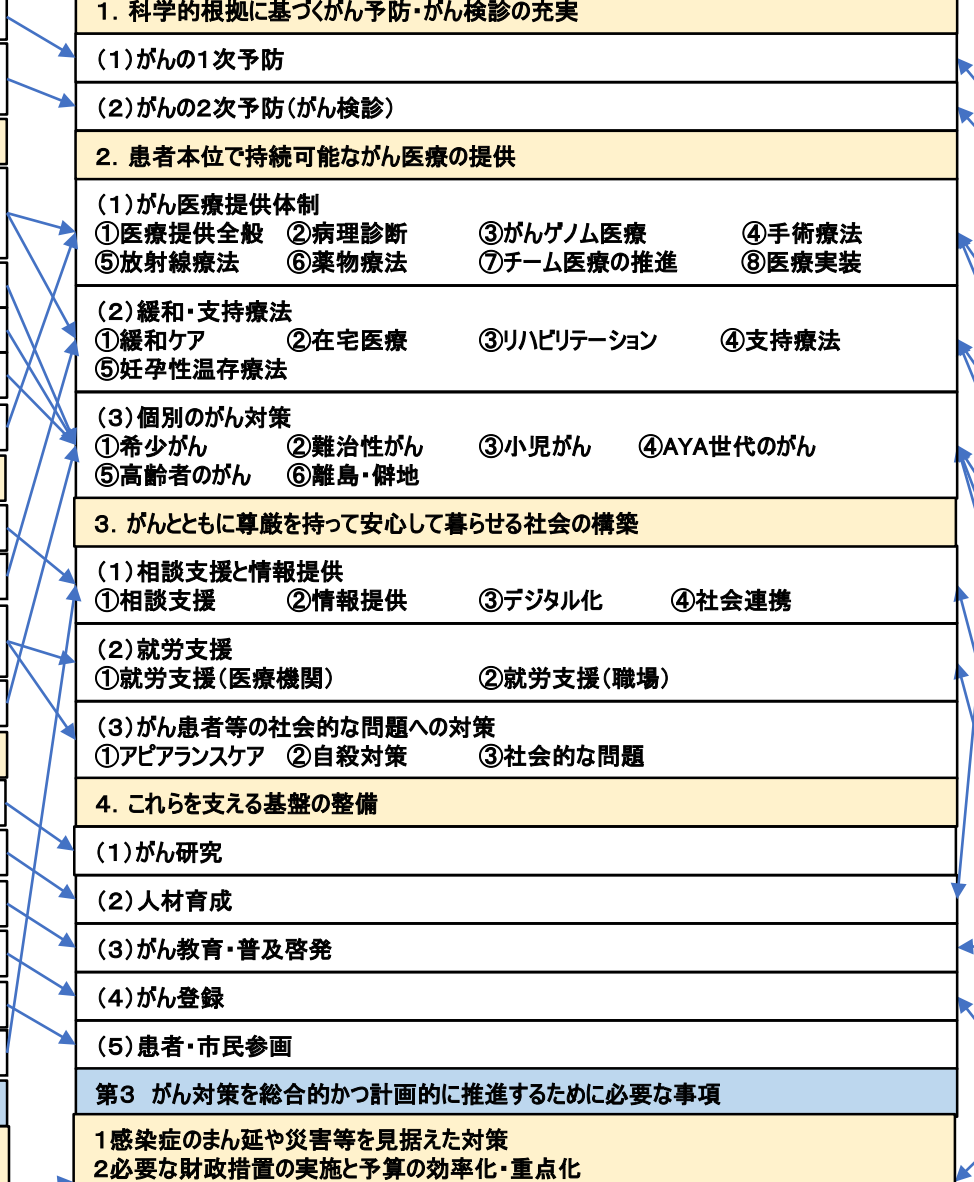
(5) 患者委員には、個別にヒアリングを行っていく予定である。

<第4次沖縄県計画(協議会案)>

第1 全体目標と分野別目標
第2 分野別施策と個別目標
1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
(1)がんの1次予防①生活習慣②感染症対策
(2)がんの2次予防(がん検診) ①受診率向上対策 ②がん検診の精度管理等 ③科学的根拠に基づくがん検診の実施
2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供
(1)がん医療提供体制等 ①医療提供体制の均てん化・集約化②がんゲノム医療③手術療法・放射線療法・薬物療法④チーム医療の推進 ⑤がんのリハビリテーション⑥支持療法の推進⑦がんと診断されたからの緩和ケアの推進⑧妊孕性温存療法
(2)希少がん及び難治性がん対策
(3)小児がん及びAYA世代のがん対策
(4)高齢者のがん対策
(5)新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装
3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
(1)相談支援及び情報提供 ①相談支援 ②情報提供
(2)社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
(3)がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援) ①就労支援 ②アピアランスケア ③がん診断後の自殺対策 ④その他の社会的な問題
(4)ライフステージに応じた療養環境への支援 ①小児・AYA世代 ②高齢者
4. これらを支える基盤の整備
(1)全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
(2)人材育成の強化
(3)がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
(4)がん登録の利活用の推進
(5)患者・市民参画の推進
(6)デジタル化の推進
第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項
1関係者等の連携協力の更なる強化、2感染症のまん延や災害等を見据えた対策 3都道府県による計画の策定、4がん患者を含めた国民の努力 5必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化、6目標の達成状況の把握 7基本計画の見直し

第1 全体目標と分野別目標
第2 分野別施策と個別目標
1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
(1)がんの1次予防
(2)がんの2次予防(がん検診)
2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供
(1)がん医療提供体制 ①医療提供全般 ②病理診断 ③がんゲノム医療 ④手術療法 ⑤放射線療法 ⑥薬物療法 ⑦チーム医療の推進 ⑧医療実装
(2)緩和・支持療法 ①緩和ケア ②在宅医療 ③リハビリテーション ④支持療法 ⑤妊孕性温存療法
(3)個別のがん対策 ①希少がん ②難治性がん ③小児がん ④AYA世代のがん ⑤高齢者のがん ⑥離島・僻地
3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
(1)相談支援と情報提供 ①相談支援 ②情報提供 ③デジタル化 ④社会連携
(2)就労支援 ①就労支援(医療機関) ②就労支援(職場)
(3)がん患者等の社会的な問題への対策 ①アピアランスケア ②自殺対策 ③社会的な問題
4. これらを支える基盤の整備
(1)がん研究
(2)人材育成
(3)がん教育・普及啓発
(4)がん登録
(5)患者・市民参画
第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項
1感染症のまん延や災害等を見据えた対策 2必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化 3目標の達成状況の把握 4基本計画の見直し

第1章 全体目標
第2章 分野別施策と個別目標
1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
(1)がんの予防
(2)がんの早期発見、がん検診
2. 患者本位のがん医療の実現
(1)がん医療と人材育成
(2)医療提供体制
(3)在宅医療
(4)緩和ケア
(5)ライフステージに応じたがん対策
(6)それぞれのがんの特性に応じた対策
(7)離島及びへき地対策
3. 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
(1)相談支援と情報提供
(2)がん患者等の就労も含めた社会的な問題 (サバイバーシップ支援)
(3)がんの教育・普及啓発
第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項
1 がん登録
2 計画の進捗管理体制



がん計画(協議会案) 全体構造図

